

政策の実現の進捗を測る適切な指標の設定

滋賀県

○ 取組の概要

地域づくりの現状や政策の方向を誰にもわかりやすい身近な指標を用いて、現在の水準や目標に対してどのくらい達成できたかを、ひと目でわかるようにした「しがベンチマーク」を導入。「県民の皆さんと県政をつなぐかけ橋」として、また、政策評価のツールとして活用。

○ 滋賀県の概要



滋賀県の概要

県庁所在地

●滋賀県大津市京町4-1-1

人口

●1,359,273人

※H17.3.31現在（住民基本台帳人口）

〇 取組について

1. 取組の背景

- 『しがベンチマーク』は、地域づくりの現状や政策の方向を誰にもわかりやすい身近な指標を用いて、現在の水準や目標に対してどのくらい達成できたかを、ひと目でわかるようにし、地域における多様な主体が共通の理解と認識を持つためのツールとして、平成12年度に導入した。

2. 取組の具体的内容

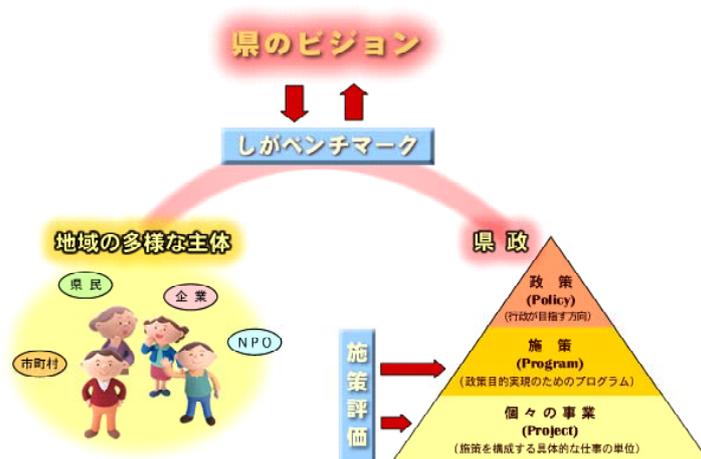
＜「しがベンチマーク」の目的＞

- 「しがベンチマーク」は、滋賀県が目指そうとする方向性や将来像を明らかにし、それを実現するための目標などについて、多様な主体が共通の理解や認識を持ち、協働していくためのツールの一つとして、いわば「県民の皆さんと県政をつなぐかけ橋」として活用することを目的にしている。
- 県政の基本戦略書ともいえるべき「滋賀県中期計画」や「中期戦略プログラム※」に「しがベンチマーク」の指標を設定することにより、滋賀県中期計画で描く将来像が、実際にどの程度実現されつつあるかを、客観的な数値によって経年的にその進捗状況を把握することが可能となる。

※ 中期戦略プログラム

「滋賀県中期計画」の基本目標の実現に向け、滋賀の個性や優位性を高めていくための重点的、戦略的な取組である「10の戦略」を推進していくための具体的なアクションプログラム。

- なお、「施策評価」は、主として施策・個々の事業のレベルでの成果を客観的な指標を用いて検証・評価し、その概要や活用結果をより良い施策の立案につなげ、政策目的と施策・事業との連動の徹底を図ることを目的としている。（平成17年度に新システムを試行。）



「しがベンチマーク」は、「県民と県政のかけ橋」として、地域の多様な主体である県民の皆さんと目標を共有し、共に実現していくもの、「施策評価」は、行政自身の自己評価により職員の手で質を高め、より良い施策、事業の立案に役立てていくものと位置づけられている。

＜「しがベンチマーク」の指標についての基本的な考え方＞

- ・ 「しがベンチマーク」の指標は、次のような視点から選定している。
 - (1) 滋賀の社会または県民の暮らしの状態を表すことのできる指標。
 - (2) 県の政策の成果を表す指標。
 - (3) 滋賀県の全国での位置がわかるよう、全国順位や全国平均がわかる指標。
 - (4) 極力、1～3年ごとに数値測定できる指標。

＜「しがベンチマーク」の指標の位置付け＞

- ・ 「しがベンチマーク」は、その指標のうち 76 指標は「滋賀県中期計画」の政策目標として、40 指標は「中期戦略プログラム」の成果目標として位置付けている。

＜「しがベンチマーク」の目標値＞

- ・ 「しがベンチマーク」の指標には県政のめざす方向性を示した目標値を設定している。各指標の目標値がどのような考え方によって設定されたものであるかをわかりやすくするため、目標値の設定パターンを次のように類型化し、表示している。
 - A：滋賀のあるべき姿を示す理想値として設定
 - B：全国第1位または上位を目指すとして設定
 - C：全国平均または中位水準を目指すとして設定
 - D：国の目標等に合わせて設定
 - E：過去のトレンド等を踏まえた実現可能な努力目標として設定
- ・ なお、目標年度は、国の計画等との関わりがあるものなどを除き、原則として平成 22 年度としている。また、全国比較可能なものについては、全国での順位や平均値を記載している。（下図参照）

全国順位 全国平均 (年度)	到達度	中期目標 (19年度)	設定根拠 最終目標 (22年度)	摘 要	目標達成への 関わりの度合い
5位 1,124 (13年)	★★★★★	910	(E) 900	省資源とごみの減量化の取組を見る指標です。平成9年度の量の約5%減の900g/日を目標としています。(1位 佐賀県 848g)	
—	☆☆☆☆	37.0	(E) 40.0	「お買い物袋持参運動」を通じて、身近な省資源とごみの減量化の取組を見る指標です。この輪をさらに広げるため、県民の皆様積極的な取組が大切です。	
20位 15.0 (13年)	★★★ 	23.0	(E) 26.2	ごみのリサイクルの程度を表す指標です。さらにごみを減らすため、平成9年度の2倍の26.2%を目標としています。(1位 長野県・岐阜県 21.5%)	

<ひと目でわかりやすい到達度の表示>

- ・ 報告書では、「目標に対して現在どの程度まで到達しているのか」（到達率）について、全国順位があるものは全国順位を加味したうえで、ひと目でわかりやすいように、「到達度」として「星（★、☆）の数」（5段階）で表している。

到達率 順位	0～29%	30～49%	50～69%	70～89%	90%以上
1位～10位	★	★★	★★★	★★★★	★★★★★
11位～20位	★	★★	★★★	★★★★	★★★★★
21位～30位	★	★★	★★	★★★	★★★★★
31位以下	★	★	★★	★★★	★★★★★
全国比較のないもの	☆	☆☆	☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆☆

- ・ ★または☆の数が前年度と比較して増減した場合には、到達度の動向として次のマークを表示している。



(ニコニコマーク)：★または☆の数が前年度と比べて増加した指標



(しかめっ面マーク)：★または☆の数が前年度と比べて減少した指標

<目標達成への関わりの度合い>

- ・ 「しがベンチマーク」に掲げる目標は、県の取組だけで達成できるものではなく、県民をはじめ、NPO、企業、市町村などとの協働により、その目標を達成できることから、「県」、「県以外の行政」、「県民・民間等」の各主体の目標達成への関わりの度合いを表示しており、関わりの度合いを表すマークは、各主体間の相対比較により、3段階で示している。

3. 取組にかかる事業費

- ・ しがベンチマーク印刷費 345,000 円（平成 17 年度）

4. 取組の体制

- ・ 「しがベンチマーク」は政策調整部企画調整課が、「施策評価」については総務部行政経営改革室が、それぞれ所掌している。
- ・ 政策調整部企画調整課の「しがベンチマーク」に係る体制は、4 名（課長 1、主席参事 1、参事 1、主任主事 2）で、いずれも兼務である。

5. 取組の成果

- ・ 取組みの成果は以下の 2 点である。
- ① 県民生活に身近な指標を用い、しかも客観的な数値データで表すことにより、県政の進んでいる点や課題などを分かりやすく示すことができた。
 - ② 「滋賀県中期計画」の進行管理において、政策の進行状況の把握するためのツールとして「しがベンチマーク」を活用し、その結果等を踏まえて、翌年度の施策構築に取り組んだ。

6. 今後の課題

- ・ 今後の課題は以下の 2 点である。
- ① 「しがベンチマーク」の認知度のより一層の向上を図ること。
 - ② 「滋賀県中期計画」を県政運営の基点とし、目的志向・成果重視の県政運営を行うため、「しがベンチマーク」などを活用した PDCA 型の行政運営を確立すること。